



窪町だより

窪町小学校令和6年度10月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/kubomachi-ps/>

視点を変えて

副校長 金子 淳平

「50-50」。この数字を見たらだれもが大谷選手の顔を思い浮かべることでしょう。大リーグ史上初の50本塁打、50盗塁の達成。記録の達成の仕方もドラマチックで、1試合で6打数6安打3本塁打10打点2盗塁と本人も驚く成績を叩き出し、前日までの「48-49」から「51-51」まで記録を伸ばしました。9月25日時点での記録は、「53-55」。イチロー選手がもつ日本人シーズン最多盗塁記録まであと1。前人未到の「55-55」どころか、「60-60」も達成できるのではないかと騒がれています。私も毎日、今日はどうだったかなとニュースをチェックしています。大谷選手が「50-50」の記録を達成した翌日、新聞には大谷選手を称賛する記事が多く見られました。私はその中にあった、大谷選手のような好成績をあげる一流のアスリートの心理について書かれた記事に目を惹かれました。

記事には次のようなことが書かれていました。『普通は、運動をはじめ自分が取り組んだことの結果に対して、「良かった」「悪かった」と一喜一憂しがち。ただ、それが「良かったからもういいや」と努力を怠ったり、「悪かったからもうやりたくない」と意欲を落としたりすることにつながる。一方、一流のアスリートは自分の成績について、「できた」「できなかった」で分類する傾向にある。失敗の原因を見つめ、克服することが成長につながるからだ。』（朝日新聞 9月21日 朝刊より抜粋）

私はこの記事を読んで、我が子に対する接し方について考えました。1学期、子どもが持ち帰ったテストの点数を見て良い点数ならほめて、悪い点数なら励ましていました。（時には叱ることもありましたが・・・）でも、一流のアスリートのような考え方をしてみるとどうでしょうか。良い点数であったらほめることはもちろんですが、「できた」という視点を持ち、なぜできたのか、その点数を取れるに至った過程を子どもと一緒に振り返り、価値付けてあげる。悪い点数であったら、「できなかった」という視点で、できなかった理由とできるようになるための方法を子どもと一緒に考えてあげることが親として大切なのではないかと考えました。すぐにできるかは分かりませんが、できるように親として子どものために努力を重ねていきたいと思っています。

もうすぐ運動会です。9月とは思えないような暑い日が続く中、子どもたちは一人一人が目標をたて、一生懸命に練習に取り組んできました。結果に対して、「良かった」「悪かった」で子どもたちは考えると思いますが、保護者のみなさまにはお子さんの「良かった」「できた」をたくさん見付けてほしいと思います。そして、お子さんの帰宅後はたくさん、たくさんほめてあげてください。それが、子どもたちの笑顔と明日への活力につながります。

「読書タイム」の取り組み

本校では、火曜日8：30からの10分間を「読書タイム」と設定し、全校一斉読書に取り組んでいます。児童は朝の支度を終えると、本棚にある「窪町小の100冊」の中から本を1冊選び座席に着きます。8：30になると、フロア全体が静まり返り、児童は自席で黙々と読書を楽しんでいます。

昨年度も、たくさんの児童が、低・中・高学年の選定図書を読破し、表彰されました。今年度もたくさんの児童が表彰されることを期待しています。

2学期から、図書室がかやの木ホールにあった場所に移転しました。児童は新しくなった図書室に目を輝かせて通っています。

読書を通じて児童の心が豊かになっていくよう指導をしていきたいと思います。

新体力テストの結果を受けて

1学期に新体力テストを行いました。テスト種目は、握力、50m走、反復横跳び、20mシャトルラン、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、ソフトボール投げの8種目です。

子どもたちには今年度の結果をもとに自己の体力の特徴を振り返り、普段の生活や体育の学習に生かしてほしいと思います。

学校としても今後の体育朝会や、体育の学習、休み時間における外遊び、校内掲示等を推進し、児童のより一層の体力向上を目指していきます。

「教育実習生が頑張っています」

9月10日から、本校に教育実習生が二人いらっやっています。そのお二人にコメントをいただきました。

「9月10日から2年3組の皆さんと一緒に勉強をしています。はじめは、全校児童や先生方の多さに衝撃を受けましたが、今はすっかり慣れて毎日楽しい発見とともに、実習の日々を過ごしています。実は、生まれも育ちも文京区です。」

「実習前の不安が吹き飛ぶくらい窪町小学校の子どもたちは元気いっぱい、毎日みんなからパワーをもらっています。うれしいことも悩んだこともありましたが全部一生の思い出です。」

担当教室のみならず、窪町小学校の子どもたちは、フレッシュな先生に興味津々でした。お二人とも、積極的に子どもたちに関わり、先生方や学校という職場から何かを学びとろうと前向きに日々過ごしてくれました。10月9日までということで、もうすぐ終わりになりますが、この1ヶ月で得た経験を将来の糧にしてくれることを願っております。

